

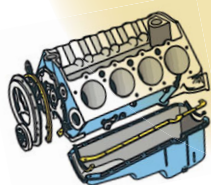


高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル7F
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006
URL: <http://www.hokkaido-koupren.com/>

今号の内容

- ▶ シリーズ「北の志」
北海道尚志学園
- ▶ 第58回定通生活体験発表大会
- ▶ 交通安全標語・ポスター入選作
- ▶ 北海道シンポジウム
- ▶ 支部だより(北見支部・道南支部)
- ▶ 高P連全国・全道大会要項(案)



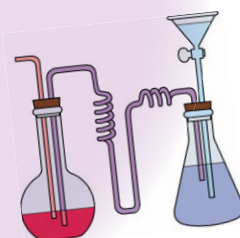
Heart to Heart 北の志

—ひたむきに頑張る君たちを応援したい—

高P連だより「北の志」は、各分野で社会貢献をめざす高校生に焦点をあてて、農業高校・水産高校、今年度の締めくくりとして、工業学科系のある北海道尚志学園をとりあげました。



だべ...



~Go Forward~

生徒一人ひとりの個性を大切にし、 本当の自分を発揮できる学校

北海道尚志学園高等学校 教頭 木原寛隆



一 沿革

本校は、昭和三十一年に北海道工業高等学校として開校しました。自動車科一学科からはじまり、翌年に工業経営科、昭和四十八年に普通科を設置しました。平成十三年には現在の北海道尚志学園高等学校に校名変更をし、普通科(特進と進学コース)、電子機械科、自動車科が設置されています。平成二十四年から北葉大コースを設置しました。石狩管内では唯一の工業科を設置する私立高校で、平成二十八年には六十周年を迎える歴史と伝統を有する学校法人北海道科学大学が設置している高校です。

二 四つの大きな学びの特徴

(一) 高校にいながら大学を感じられます。



系列大学ディベート授業

出前授業…系列大学教員による出前授業で、大学の学びを感じることが出来ます。

大学訪問…系列大学を訪問し、大学の魅力や最新の研究を先取り体験出来ます。

総合学習…大学進学した先輩から話を聞いた後、パソコンでeラーニングを行います。

設備共有…北海道科学大学グループのスケールメリットを活かし、体育館等の設備共有を行っています。また、部活動等の交流も行われています。

(二) 特待生徒・奨学金制度で、頑張る生徒を応援入学の時にかなった生徒には学費が免除される「特待生」への道が開かれていきます。また、入学してから成績が向上した生徒や経済的に就学が困難な生徒には「奨学生」として奨学金が与えられます。

(三) 学力アップのための様々な工夫
尚志塾…毎日放課後に開講され、職員室に隣接された自習スペースや自習室で課題に励みます。教員がサポートしながら学習の「計画・実行・復習」を行います。

三年プランで志望校現役合格をめざします。

こうした計画的な学習の積み重ねから「自学習」の能力も身につきます。また、夏期、冬期の年二回「勉強マラソン」も実施しています。

定期講習…夏・冬・春にコース別の講習を実施。希望者は全員受講することが出来ます。朝学習…毎朝、読書や英語学習、小テストなどを学科・コース別で行っています。

受験対策…受験に対応できる「ゆるぎない学力」を日々の授業で養成します。普通科全クラスで実施しています。

(四) きめ細やかな進路指導で、目標を徹底的にサポート
早期進路…進路講演会(先輩からの勉強の秘訣)、進学・就職説明会を早期に実施します。

ガイダンス
二者懇談…進路達成に向けて、模試等の現状分析を行う面談の機会を定期的に設けています。
職業体験(見学)…進路実現に向けて、各コースごとに病院見学や企業

見学を実施し、将来の自分の職業をイメージする機会を設けています。

三 学科・コース

(一) 普通科
国公立大学・難関私立大学・系列大学への合格をめざします。



普通科授業風景

北葉大コース…大学と連携した独自のカリキュラムと高大連携による



北葉大体験授業

一貫教育により未来の薬剤師をめざします。薬剤師・医療の仕事を実践したり、将来のチーム医療や現場での対応に欠かせないコミュニケーション能力を高めるため、独自の授業「薬剤師への道」でやる気も成績もアップします。

進学コース(保健医療コース)…

系列大学である北海道科学大学との高大連携授業やスクーリングを通して進学意欲を高め、学習と部活動の両立をめざします。なお、二次より看護士や放射線技師、理学療法士などの保健医療系をめざす保健医療コースか、理工系や文系をめざす進学コースを選択出来ます。

(二) 電子機械科

知識・創造力を養い、新時代のものづくりエンジニアをめざします。二次よりコース選択をします。

メカトロコース…高度化するコンピュータによる制御技術(メカトロニクス技術)や、ものづくりに必要な技術の基礎を学びます。三年次には、ものづくりの甲子園、高校生ロボコンに参加するためのロボットを製作します。

マルチメディアコース…CGやマルチメディアなど、未来の情報社会をデザインする人をめざします。三年次には、映画やTVCM、ゲームなどに出てくるような3DCG(三次元コンピュータグラフィックス)を制作します。



電子機械科製図授業

(三) 自動車科

自動車整備の基礎技術を修得し、自動車全般に関わる技術者をめざします。国土交通省から認証を受けた整備工場(車検場)と、「自動車整備士第一養成施設」の指定を受けている実習施設は、規模・内容ともに大変充実しています。北海道科学大学短期大学部との高大連携により、高度な技術習得も視野に入れ、専門性をさらに高めた特色ある教育により、在校中に、国家資格の三級自動車整備士合格をめざします。



自動車科実習

第58回道高校定通生徒生活体験発表大会

最優秀賞

なせばなる

北海道有朋高等学校 単位制課程 三年次 岡 本 秀 美



私は以前、有朋高校ではない別の高校に在籍していましたが、入学早々に病気を発症し登校できなくなりました。幼稚で不器用だった当時の私は、自分の置かれた現状に対処することができませんでした。自身の無力さを実感し、体を起こしていることさえも困難な容態を悲しみ、生まれて初めて「生きることは何なのか」を真剣に考えるようになりました。

私はまもなくして高校を休学することになりました。しかし、周囲からの励ましに勇気づけられ、希望を持って治療に専念できました。たくさんさんの励ましの中でも「苦しんだからこそ、人の気持ちがわかるようになった。だから悲しむ人を励ましたいと思うんだ」と聞いた時、心を打たれました。「私も苦しい現状を乗

り越えて、悩み悲しむ人達が前進できるよう希望を与えられる人間になりたい。そのために『生きていきたい』と思いました。この考えが私の「原点」であり、今でも私を支え続ける「軸」となりました。

その後、自身の体調を考慮し在籍していた高校を退学。新天地として有朋高校に入学しました。約半年ぶりの学校生活は楽しみであると同時に、とても不安でした。

理由の一つ目は人間関係です。中学生の頃、はぶかれていた友人と親しくし続けた結果、今度は自分がはぶかれるということがありました。事態はすぐに収拾しましたが、それから人と接することが恐くなってしまいました。しかし「友人と普通に、楽しく話せるようになりたい」との思いが勝り、積極的に人に声をかけよう努めました。すると、何の気兼ねも無く話せる友人達ができたのです。自分の居場所があることに、大きな幸せを感じまし

た。今では、同じ目標を目指す。励まし合える親友がいます。出会えた友人一人ひとりを大切に、一緒にたくさん思い出を創っていきたいと思います。

二つ目の不安要素は勉学に励むこと。前籍校は授業の進度が早く、睡眠時間を削って勉強しなければ周りにおいていかれるほどでした。そのストレスが病気を発症した原因の一つであったことから、有朋高校での授業中も強い恐怖に襲われて逃げ出したい思いでいっぱいでした。「病状が悪化し学校に通えなくなるかもしれない」という三つ目の不安が頭をよぎります。しかし「臆病な心を乗り越えて、大きく成長しよう」と決心し、どんなに体調が悪くても必死に高校へ通い続けました。そうした努力を続けたこと、何より先生方の細やかな気配りもあり、次第に勉強や授業への恐怖心は薄れていきました。また月日を経るごとに病状は少しずつ回復していき、高校三年生になった現在は、健康であることに感謝しながら毎日を過ごしています。

今年の夏は、学校祭の準備と私が所属するボランティア団体の活動、美術部での作品制作が重なり、とても慌ただしい日々を送りました。

学校祭で私のクラスは校内装飾の担当でしたが、クラスメイトの多くはアルバイトなどで忙しく、準備に参加できるのはほんの数人でした。しかし、高校生活最後の学校祭で良い思い出を創りたいと思い、私が責任者として少人数でも一生懸命準備に取り組みました。日中は授業を受け、その後の夜の八時まで装飾を作り、一時間半かけて帰宅する。そして翌朝の五時に起床して登校するという日々を繰り返しました。とても大変でしたが、その分得られた充実感は大いいものでした。そして努力が実を結び、私のクラスは装飾部門で最優秀賞を受賞。作品が表彰されたということは、友人達と協力し合って作品を作り上げた「過程」もまた、表彰されたといえます。そのことは何にも勝る喜びでした。

ア団体は、「生きていく支援」を目的に結成されました。その活動の一環として、「現代社会の生きづらさを考える勉強会」を開催することになりました。私は勉強会の中心的役割を担い、学校祭準備の合間を縫って企画、運営に奔走しました。努力の甲斐あって、勉強会は大成功。参加者の方々から「いい勉強会だった」との言葉を頂きました。

少し前まで体調を崩しやすかった私は、多忙な日々を乗り越え切ったことで、以前よりも広い心を持つて行動できるようになりました。二つの出来事から得られた自信を胸に、八月は美術コンクールに出展する作品を制作しました。制作期間は約二週間と短いものでしたが、美術部員達と励まし合い部室にこもって作業したこと、作品を家に持ち帰り徹夜で制作に励んだこと、佳作という賞を頂けたことは、苦労が多かった分良き思い出となりました。

今年で高校生活は四年目。四年前の私は、自分のことすら理解できていませんでした。しかし、病気になったことで自分自身と大いに向き合い、「生きる指針」を見出すことができました。有朋高校では勉強以外にもたくさんのことを学びました。寝たきりだった状態からここまで回復し成長できたのは、友人達や先生方の温かな心配り、そして私を信じ見守り続けてくれた家族の支えがあったからです。私も人の心に寄り添える人間になれるよう、現在医療職である作業療法士を目標に、大学進学を目指して勉学に励んでいます。この目標を胸に携え、弛まず努力していきます。

数々の悩みや困難を乗り越えたことで、大きく成長できたのです。だから私は、自分の境遇を不幸であるとは思いません。本当に恵まれていて幸せ者だと胸を張って宣言できます。自分自身の原点、感謝の気持ちを心に留め、自分が信じた道を歩みぬいていく決意です！



標語

＊優秀賞

＊最優秀賞

◆イヤホンが せまる危険の 音を消す

伊達緑丘高等学校 3年 山城夏穂

◆目指すのは 無事故という名の 当たり前

岩見沢緑陵高等学校 3年 山本貴大

◆エブリワン 安全運転 エブリデイ

釧路明輝高等学校 2年 佐藤 柊

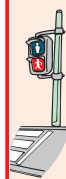
◆遅れても 急ぐな飛ばすな 周り見ろ

足寄高等学校 2年 佐々木 春香

高校生

交通安全標語・ポスター入選作

(高等学校長協会提供)



交通事故死ゼロをめざして 北海道高等学校長協会会長 富田 敏明

昨年の北海道における交通事故の犠牲者は一八四人でした。交通事故による死者数がピークであった昭和四十六年の八八九人と比べると五分の一まで減少はしているものの、依然かけがえない生命が失われたり、負傷を余儀なくされたりする方が後を絶たない状況に大変心が痛みます。今年も交通安全関係諸団体が一体となり、「ストップ・ザ・交通事故死」をめざせ安全で安心な北海道」をスローガンに、交通事故防止活動に取り組んでいます。しかしながら、交通事故を減少させようとの思いも空しく、高齢者並びに高校生を含む若年者の交通事故の痛ましいニュースが続いて

います。こうした中、本協会では、調査研究部学校安全小委員会が中心となり、高校生が自らの命と他者の命を大切に、交通事故の危険に對する感受性を高めることを期待して「交通安全標語・ポスターコンクール」の事業を続けてきており、今年で三十三回目を数えております。今年応募状況は、標語が五十一校から七二九作品、ポスターは二十三校から八十五作品が寄せられました。応募いただいた生徒の皆さんと指導に当たられた先生方に、厚くお礼を申し上げます。これらの貴重な応募作品につきましましては、外部審査

員の皆様に慎重な審議をいただき、入選作品を決定し、本紙に掲載したところです。受賞された生徒の皆さんに心より敬意を表します。本作品集並びに最優秀の標語とポスターは、交通安全を志す本道高校生のメッセージとして、道内の全ての高等学校と関係機関、団体並びに関係報道機関にお届けいたします。終わりに、交通安全標語・ポスターコンクールの事業の推進に当たり多大なお力添えをいただいております北海道高等学校PTA連合会並びに関係機関、団体の皆様に心から感謝を申し上げ、発刊に当たつてのご挨拶といたします。

子どもたちのメンタルヘルス向上支援事業 北海道シンポジウム

演題「子どもの心をのぞいてみれば」

講師	立教大学現代心理学部映像身体学科教授 香山 リカ氏 (精神科医)
期日	平成二十六年十月十三日 (月)
会場	グランドホテルニュー王子 若草の間
主管	北海道高等学校PTA連合会 胆振支部 日高支部
主管校	北海道苫小牧総合経済高等学校



子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境の充実を目指してとの主旨で、平成二十年度に第一回が開催された「北海道シンポジウム」も今年で七回目を向かえた。この間、さまざまな講師を迎え、子どもたちの健全育成を目指して行われてきたが、その社会的役割を果たし、今年が最後の開催となった。

講演は、人気映画「黒子のバスケ」をめぐる脅迫事件での加害者の話や香山先生がカウンセリングで関わった薬物依存の患者の話などを例にあげ進められた。特に、脅迫事件の加害者が、取り調べを行った刑事に対し、「初めて、自分の話を真剣に聞いてくれる人に出会えた」と話した点に触れた。幼少期、人から認められたという実感を持っていないまま大人になったことが、今回の悲劇を生んだのではないかと、また、薬物依存の患者も、幼少期に褒められた経験が少なかったことに言及した。子どもの頃の成育環境が、その後の人格の形成に大きな影響を及ぼすとし、子どもたちが「自分はこの社会に必要とされている」という実感が持てることが必要だと話された。

一方、大人に対しては、カウンセリングを行った家庭をモデルに、「親がしっかりとしないといけない」と思い込み、余裕がなくなる方が多いが、これは、逆に、「親が余裕を持って、自分の趣味などに楽しく生活することが子どもにも良い影響を与えられて、大切なことである」とのアドバイスを受けた。

大変貴重な講演をいただいた香山先生をはじめ、ご協力いただいた関係の皆様、心から感謝申し上げます。報告とさせていただきます。

苫小牧総合経済高校 教頭 河田 章宏



最優秀賞



釧路明輝高等学校 3年1組

交通安全

佳作

◆「行けるだろう」その判断にブレーキを

厚岸翔洋高等学校 1年 片桐駿平

◆「いそがなきや」焦る気持ちに 赤信号

檜山北高等学校 1年 杉村北斗

◆耳と目は 事故防止の 情報源

北見工業高等学校 3年 北嶋秀耶

◆もどれない 過去も自分も 被害者も

佐呂間高等学校 3年 福岡直央也

◆その油断 変える意識で 変わる未来

稚内高等学校 3年 金子太一

◆画面には 潜む危険は 映らない

松前高等学校 3年 松田莉那

◆顔あげて 「安全」「幸せ」 ほら見えた

松前高等学校 1年 佐々木日向

◆守りたい 規則と速度 この命

釧路北陽高等学校 1年 木村友香

第二回理事会報告

日時 平成27年2月21日
場所 札幌全日空ホテル
出席者 役員・理事 30名

各委員会報告

※理事会前に開催された
委員会の審議状況等を
各委員長から報告。

・総務委員長

石狩・下山春美理事

・研修委員長

後志・佐藤公寿理事

・健全育成委員長

道南・北代恵美子理事

議事

一 会則・会則施行細則等

規定改正案審議

●局長が提案理由説明。

①会則改正は主に「会費資格を明確にする」「会費規定を会則施行細則に移す」「表彰を事業として規定する」ため。

②会則細則改正は主に「会則改正に伴う改正」「道

養教研の理事枠を廃止」「代議員を各支部一名減員」「代議員代理を委任

状無しで同支部役員に委任する」ため。

③会計事務処理規程改正は「基金からの支出を新た

に規定する」ため。

●提案説明後、承認。

※承認後、局長が「会則改

正は6月の総会に提案」、

「代議員各支部一名減、

代議員代理を委任状無し

で同支部役員に委任」す

る会則施行細則改正と会

計事務処理規程の改正は

本日付で施行するが、そ

の他は総会で会則改正が

承認された日とする旨、

説明。

二 表彰規定改正審議

●局長が提案理由説明。

①年間の表彰者が四百人以上で、費用が百万円を超えている。

②単P功績者の表彰は多数

の単Pが実施している。

③集中する事務手続きは支

部長校の負担大であり、

本部の事務処理も限界。

④「単Pで会長一年を含め

三年以上にわたり顕著な

功労があった役員」の退

任時に表彰する。

●質疑応答後、承認。

三 平成27年度事業日程

四 全道大会

(1)北見大会（平成27年）

(2)道南大会（平成28年）

(3)「大会主題」「趣旨」

※「大会主題」

「身近な人と結ぶ

信頼の絆」

※「趣旨」

「善意」と「悪意」が

平然と混在する仮想空間

で迷子になり、時間を浪

費し、トラブルを起こし、

人間性を問われる人が増

えています。

子どもたちの健全な成

長を願う私たちは、顔の

見えない仮想空間ではな

く、お互いの顔が見える

家庭や学校等で培われる

「身近な人と結ぶ信頼の

絆」こそが子どもたちの

温かい支えになるという

共通の思いを胸に、本音

で語り合いましょう。

五 平成27年度暫定予算

六 平成27年度役員選考

委員会委員選出

※委員長に「蜂谷理事」、

委員は会長・委員長に一

任

七 各種ローテーション

八 その他

※会長が道高P連と安全

互助会の次年度事務局

体制を説明。

※「審議事項」三～八まで

承認。報告事項等は省略

支部だより

見部
北支

「オホーツクより」

北見支部長 前田 敏行
(北海道網走南ヶ丘高等学校PTA会長)

北見支部はオホーツク海に面する地域にございます。夏は知床の自然に楽しむことができ、冬は日本ではこの地域しか見ることのできない流水がやってくる場所でございます。本年度はいつもより早く流水が到達し、海一面を覆う流水を求めて多くの観光客に足を運んでいただきました。

北見支部は現在二十六校、二十九の単Pで構成されております。

本年度の北見支部の事業として、五月に北海道PTA連合会北見支部総会(網走市)、十月に北海道PTA連合会北見支部研修会(遠軽町)を行いました。

五月十六日に行われました北見支部総会では、北海道高等学校安全互助会事務局次長の青陽哲也様をお迎えし、平成二十七年より実施予定の北海道高等学校安全互助会についてご説明頂きました。

十月十八日に開催されました北見支部研修会では、講演会とPTA実践発表及びグループ協議を行いました。

た(出席者百二十三名)。講演会は、遠軽高校ご出身で機動戦士ガンダム制作にも深く関わられました「安彦良和(やすひこよしかず)」様をお迎えし、「歴史漫画を描いて思うこと」をテーマにご講演頂きました。漫画を通して日本史について解説頂き、とても興味深い内容でした。PTA実践発表及びグループ協議では、三つの分科会に分かれて各々のテーマに沿って活発な意見交換が行われました。研修会後に行われました懇親会ではビンゴ大会(景品:遠軽町特産野菜など)、じゃんけん大会(景品:安彦様直筆機動戦士ガンダムのサインイラスト三枚)で大いに盛り上がり、親睦を深めました。



ところでございます。ぜひ北見大会へご参加下さいませ。様お願い申し上げます。平成二十五年・二十六年と北海道PTA連合会北見支部事務局として私も網走南ヶ丘高校が務めてまいりました。次年度は北見北斗高校が事務局校となります。二年間無事に事業を行うことができました。ご協力頂きました各単会の皆様並びに道高P連関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

南部
道支

「今、親として」

道南支部長 北代 恵美子
(北海道函館西高等学校PTA会長)

道南地方も、暖かい爽やかな風がふく季節になり、桜のつぼみが春を上げています。



「高校生と語るつどい」全体写真

道南支部では昨年四月から事務局を北海道函館水産高等学校から北海道函館西高等学校が引き継ぎ、五月三十一日(土)にマリエール函館において、道南支部三十二校三十四単Pの方々にご参加をいただくとともに、北海道高等学校PTA連合会副会長村上義人様のご出席、ご挨拶をいただき、道南支部総会を開催いたしました。総会は無事終了し、その後の教育懇話会では笑いとお話の中、活発な意見交換が行われ、各単P間の親睦が深められ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

また、八月八・九日(金・土)には一泊二日の日程で高校生や保護者、教員など四十八名の参加者が少年自然の家ネイバル森に集い「高校生と語るつどい」を実施しました。テーマは「いのちのお話をつくる。」。小さな子どもたちに伝える言葉でです。講師に絵本作家のあまさかゆう様を迎え、命についての講演や意見交換、絵本づくりに取り組み、発表会では多くの感動と涙の中、命について心を寄せることで改めて母や父のすばらしさを感じ、「命は次の世代に繋いでいかなければならない、かけがえのないものであること」を学びました。

十一月二十七日(木)には北海道函館北高等学校の主管のもと道南支部研修会が一六〇名の皆様の参加で開催され、曹洞宗浄山正覚院住職松村俊昭老師様より「今、大人たちは...」と題して、「子どもは親の背中を見て育つもの、親の後ろ姿がしつこくあり、礼儀であり、感謝の気持ちや他者への思いやりを育むことになる」とのお話をいただきました。続いて函館白百合学園中学高等学校PTA研修部部長森田智鶴様と副部長の中村陽子様よりPTA活動についてご提言をいただきました。白百合学園さんの



「道南支部総会」北代支部長挨拶

第65回 全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会要項(案)

【大会趣旨】より抜粋

今、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきております。急激な社会の変化、IT革命の進展、マスメディアの発達の中で、子どもたちは何を手にして何を失っているのだろうか。自分は何を考え何処を目指すべきか、子どもたち自身が確信を持てずうろたえていることがないだろうか。

今こそ、子どもたちに「未来圏から吹いてくる透明な清潔な風」を頼に感じて欲しい。手をかざして進むべき彼方を見つめて欲しい。そして奮い立って欲しい。そのような思いから、メインテーマは「未来圏からの風をつかめ!」と決めました。

大会テーマ
メインテーマ

『未来圏からの
風をつかめ!』

サブテーマ

～新時代を担う君たちと共に～



● 日 時 平成27年8月20日(木)・21日(金)

時 間	8月20日(木)	時 間	8月21日(金)
8:30	受付	8:30	受付
9:00	アトラクション 9:00～9:30 (30分)	9:00	アトラクション 9:00～9:50 (50分)
10:00	開会式 表彰式 9:40～10:40 (60分)	10:00	記念講演 10:00～11:10 (70分) 講師：大友啓史氏 (映画監督)
11:00	基調講演 10:50～12:00 (70分)	11:00	閉会式 11:20～12:00 (40分)
12:00	昼食 アトラクション 12:20～12:50 (30分)	12:00	終了
13:00	移動・受付 12:50～14:00 (70分)		
14:00	分科会・テーマ・閉会式会場		
	分科会	テ マ	会 場(閉会式会場)
15:00	全国高P連研究発表	全国高P連研究発表	岩手産業文化センター(アビオ) (2,500名)
	第1分科会	学校教育とPTA	盛岡市アイスアリーナ (1,500名)
	第2分科会	進路指導とPTA	岩手県民開館 (1,500名)
	第3分科会	生徒指導とPTA	盛岡市民文化ホール (1,500名)
	第4分科会	家庭教育とPTA	盛岡グランドホテル (1,000名)
	特別第1分科会	情報化社会と教育	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング (1,000名)
16:00	特別第2分科会	防災教育・復興教育	都南文化会館(キャラホール) (1,000名)
	1日目終了		
17:00			

※詳しくはホームページの「大会概要」を参照
<http://taikai.iwateken-koupren.org/>
「全国高P連大会岩手大会」で検索!

第65回 北海道高等学校PTA連合会大会北見大会要項(案)

- 主 催 北海道高等学校PTA連合会
- 後 援 北海道教育委員会 北海道高等学校長協会 北見市
北見市教育委員会(予定)
- 主 管 北海道高等学校PTA連合会北見支部
- 主 管 校 北海道北見北斗高等学校
- 期 日 平成27年6月13日(土)・14日(日)
- 日 程

日	内 容	時 間	会 場
13日 (土)	安全互助会評議員会 北海道高P連総会	9:30～12:30	北見市民会館 小ホー ル
	受 付	12:30～13:30	
	開 会 式・表 彰 式	13:30～14:30	北見市民会館
	講 演	14:30～16:00	
	教育懇親会	17:00～17:30 17:30～19:00	ホ テ ル 黒 部
14日 (日)	受 付 分 科 会	9:00～9:30 9:30～12:00	北海道北見北斗高等学校 北海道北見柏陽高等学校

- 会 場 北見市民会館 他
- 大会主題・趣旨
※道高P連で検討中
- 大会メッセージ
「響け オホーツクの青空へ 未来を担う 子ども
たちへの応援歌」
- 部会構成と研究協議
・30～35名程度で37グループを構成し、情報
交換・意見交換を行う。
・各分科会でテーマを設けるが、参加者の意向を
踏まえて進行する。
・分科会 北見北斗高等学校会場 19分科会
北見柏陽高等学校会場 18分科会
合計37分科会
- 講 演 演題 ……「ご飯にしよう」
講師 西村 淳(元海上保安官 第30次・38次
南極越冬隊 南極料理人)
- 費 用 参 加 料 4,000円、集 録 代 1,000円、
懇親会費 5,000円
- 参加申込 送付先 (株)近畿日本ツーリスト 北見支店
「第65回北海道高等学校PTA連合会大会
(北見大会)」係
〒090-0040 北見市大通西2丁目6番地
フミヤビル1階
TEL 0157(61)5311 FAX 0157(25)7985
- 申込必切 平成27年4月28日(火) 必着
- 事 務 局 北海道北見北斗高等学校内 高P連第65回大会
(北見大会)事務局
〒090-0035 北見市北斗町1丁目1番地
TEL 0157(24)3195 FAX 0157(24)3197

四月から共済事業がスタート

～高校生活とPTA活動に安心と充実を～

一般財団法人 北海道高等学校安全互助会

道高P連により設立された北海道高等学校安全互助会の共済事業が、いよいよ四月からスタートします。

昨年九月の北海道教育委員会からの事業認可後、地域別説明会や学校訪問などを実施してきました。皆さんから寄せられたご支援ご協力に感謝します。

一月、各学校に「共済事業のご案内」や「共済事業の手引」を送付しました。「共済事業のご案内」は概要を掲載したものですので、詳細の説明は「共済事業の手引」の内容によって下さい。各学校ではこれらの資料をもとに、PTA役員会を開催するなどして議論を深めたと伺っております。

高校生活とPTA活動に安心と充実をもたらす共済事業に、ぜひ、ご加入下さい。

また、本会が実施する共済事業は、災害ゼロを目指す安全や健康に関する普及啓発活動なども含んでおり、充実した活動となるよう準備を進めているところです。

ホームページがスタートしました。

共済事業の概要（案内パンフレット、共済約款、事業方法書など）、加入・請求手続き（第1号様式から第14号様式はダウンロードして利用することが出来ます）、報告・計画（事業報告や事業計画）、役員（理事・監事・評議員名）や安全互助会だよりなどが掲載されていますので、ご活用下さい。

Q & A

Q 北海道高等学校安全互助会が設立され、共済事業を行う経緯を教えてください。

A 北海道高等学校PTA連合会では、「学校の管理下」の生徒の災害に給付される日本スポーツ振興センターからの見舞金を補うことと目的に、昭和六十二年に安全互助会を設立し共済事業を行ってきましたが、保険業法の改正により業務を停止し、平成十九年に民間会社が運営する「災害補償制度」を導入しましたが、加入者減などの課題を抱えていました。

の声に応え、平成二十二年に「PTA・青少年教育団体共済法」が成立し、再びPTAにより共済事業を実施することが可能になりました。

そこで、道高P連では現在の「災害補償制度」を廃止し、新たに北海道高等学校安全互助会を立ち上げ共済事業を行うこととしました。これらの経過を考えますと、安全互助会を全道のPTA会員の手でしっかりと支え育てていく必要があると思います。

Q 北海道高等学校安全互助会の共済事業の特徴は何ですか。

A 本会の共済事業の特徴は、旧安全互助会と同様の「学校の管理下」に生徒が被災した災害に対するスポーツ振興センターからの給付の上乗せだけでなく、これに加えて、「PTAの管理下」の生徒とPTA会員も対象にしていることです。

が主催・共催する活動中の災害であれば本会は給付の対象とします。また、「PTAの管理下」のPTA会員の災害についても共済の対象にしましたのでPTA活動の活性化の一助ともなるかと思っています。

Q 「PTAの管理下」にある「PTAが主催又は共催する行事」とは、どのような活動をいうのですか。

A 各単位PTAでPTA総会など会則に基づき手続きを経て決定された行事を言い、会員が任意で行った場合は対象になりません。

Q 「PTAの管理下」として認められるPTA会員が自宅と会場の間を移動する場合とはどのような場合ですか。

A PTA会員が自宅とPTA行事が実施される会場との間を合理的な経路（一般的には最短距離）と方法で移動する場合であり、私用で別の場所に立ち寄ったりして経路を外した場合は対象外です。

Q 災害を被っても共済金が支払われないのはどんな場合ですか。

A 共済約款第4条第1項（5）から（12）及び第2項にある、「被共済者の自殺行為、犯罪行為又は闘争行為による場合」「法令に

定められた運転資格を持たないで自動車等を運転している場合」や「被共済者が頸部症候群（むちうち症）、腰痛その他の症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的所見のないもの」などです。

Q 安全互助会の共済金は個人で加入している傷害保険から保険金が支払われていても給付されますか。

A 安全互助会の共済金は個人で加入している傷害保険とは関係なく安全互助会の規程により給付されます。

Q 給付された共済金の受け取りはどのような方法で行われるのですか。

A 共済金は共済金受取人に直接送金されますので、共済金請求書に共済金の振込先となる金融機関の口座番号等を記入して提出して下さい。

Q 二月に発生した災害で四月以降もスポーツ振興センターの給付が続いているときはどのように取り扱われますか。

A 本会の共済事業は平成二十七年四月以降に発生した災害を対象にしていますので、それよりも前に発生した災害については、本会の給付の対象とはなりません。

ロゴマークを決定

昨秋募集したロゴマークに応募した中から、別海高校一年の小倉優生さんの作品を原図として採用して、ロゴマークが決定されました。

マーク中央にある原図の四つ葉のクローバーは、すべての人々が幸せに生きていくことへの願い、緑色は高校生の将来性と健全な成長を象徴しています。また、中央部の文字「安」は本会が目指す人々の安全と安心、文字の白色は本会が公正公平に運営されることを表しています。

この原図を道高P連のロゴマークと同様に外形を北海道の略地図で囲み、本会が道高P連とともにあゆむことを象徴しました。

